

2017年4月1日

## 2017年度 入社式訓示

三井不動産リアルティ株式会社  
代表取締役社長 山代裕彦

皆さん、ご入社おめでとうございます。

本日ここに、三井不動産リアルティ、地域リアルティ各社を合計して、総合職 247 名、一般職 98 名、合計 345 名という多くの皆さんを新入社員としてお迎えできることを大変うれしく思います。役職員を代表して心より歓迎し、お祝いを申し上げます。

皆さんの顔を拝見しておりますと若干緊張気味なのかなと拝察しておりますが、この緊張感というものは、社会人生活において非常に大切なものなのです。会社生活が始まると、今日から四十年近く同じ組織に入ることになります。ともすれば惰性に走り緊張感を失うこともあります。今日ここに感じておられる緊張感を心に刻んで、三井不動産リアルティでの会社生活を送っていただけたらと思います。

不動産仲介の事業フィールドである良質な住宅ストックは、国の政策もあり今後さらに成長が期待されています。駐車場事業においては、車の保有台数が大きく伸びることは難しいかもしれませんが、駐車場の整備の必要性はまだ拡大していくと考えています。また、カーシェアリング事業や駐車場シェアリング事業はまだ始まったばかりであり、今後、いっそうの成長が期待できます。当社を取り巻く事業環境はまだ拡大が期待でき、私たちの頑張り次第で当社はこれからも大きく成長することができると思っています。

今日では情報の多くがインターネットを通じて入ってきます。デジタルを活用することで情報収集の強化、お客さまとのコミュニケーション強化、社員間の情報共有、業務の効率化、業務精度の向上が可能となり、当社においてもデジタル関連への投資を積極的に行っています。若いみなさんは I C T に対するリテラシーが高く、とても期待しています。しかし、忘れてはいけないことは、お客さまのことを思い、寄り添うことができるのは人だということです。あくまでも人が主役であり、I C T の活用は主役である人がお客さまの満足度を向上させるための補助なのです。その意味でも当社は、デジタル関連への投資とともに、人への投資も惜しみません。フィービジネスの会社である当社にとって何より大事なものは「人材」です。ぜひ皆さん一人ひとりが成長戦略の要となっていたいただきたいと思います。

希望に燃える皆さんに言葉を贈りたいと思います。それは「ヒッシ」という言葉であります。「ヒッシ」という言葉で皆さんはどのような漢字を思い浮かべるでしょうか。一番多いのが必ず死ぬと書く「必死」ではないでしょうか。この意味は皆さんご存じだと思いますが、「死ぬ覚悟で全力を尽くすこと」であります。「ヒッシ」にはもう一つの漢字表記があります。それは必ず至ると書く「必至」であります。辞書によれば「必ずその事がやってくる。そうなるのは避けられないこと」とあります。「必死」「必至」双方とも将棋用語だそうです。そこで私が勝手に考えたことなのですが、何事をするにも「死ぬ気になって取り組めば」「必ず実現する」、というように解釈するのはどうでしょうか。皆さんは若い。これからの長い会社生活の中でいろいろな問

題に直面するかと思います。その時に「必死」になってやれば必ず「必至」を実現する。この気概を持って会社生活を送って下さい。

皆さんの当社での生活が充実したものになることを祈念しまして、私のお祝いの挨拶とさせていただきます。

■本件に関するお問い合わせ先

三井不動産リアルティ株式会社 企画部広報グループ 渡辺、石原（電話 03-6758-4062）